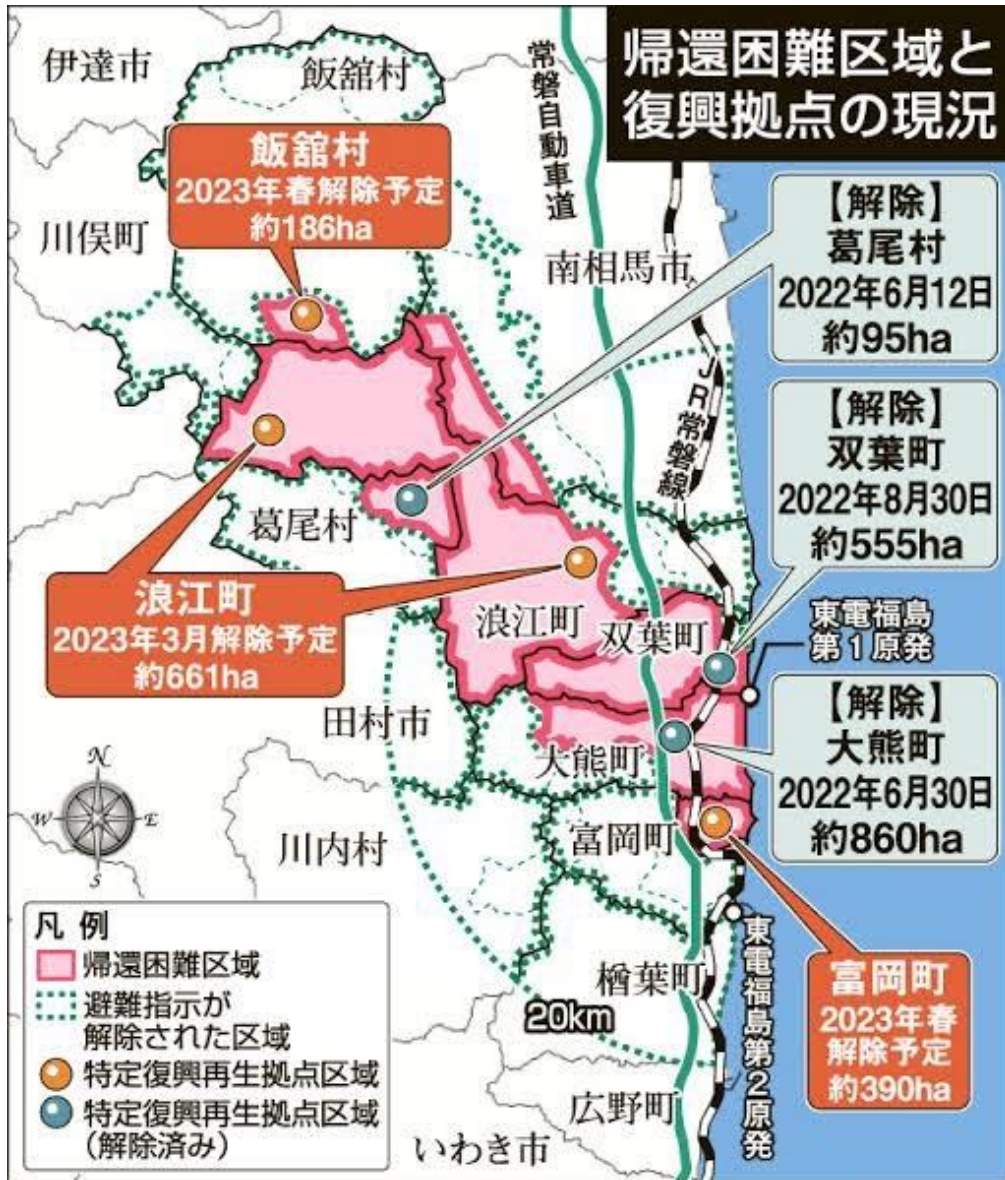


An abstract background featuring a large, horizontal splash of ink or paint. The splash is composed of two main colors: a vibrant blue on the left and a bright pink on the right, with some purple hues in the center where the colors meet. The ink has a fluid, organic texture with many small, swirling details. The entire splash is set against a plain white background.

半年間での福島の変化

はじめに

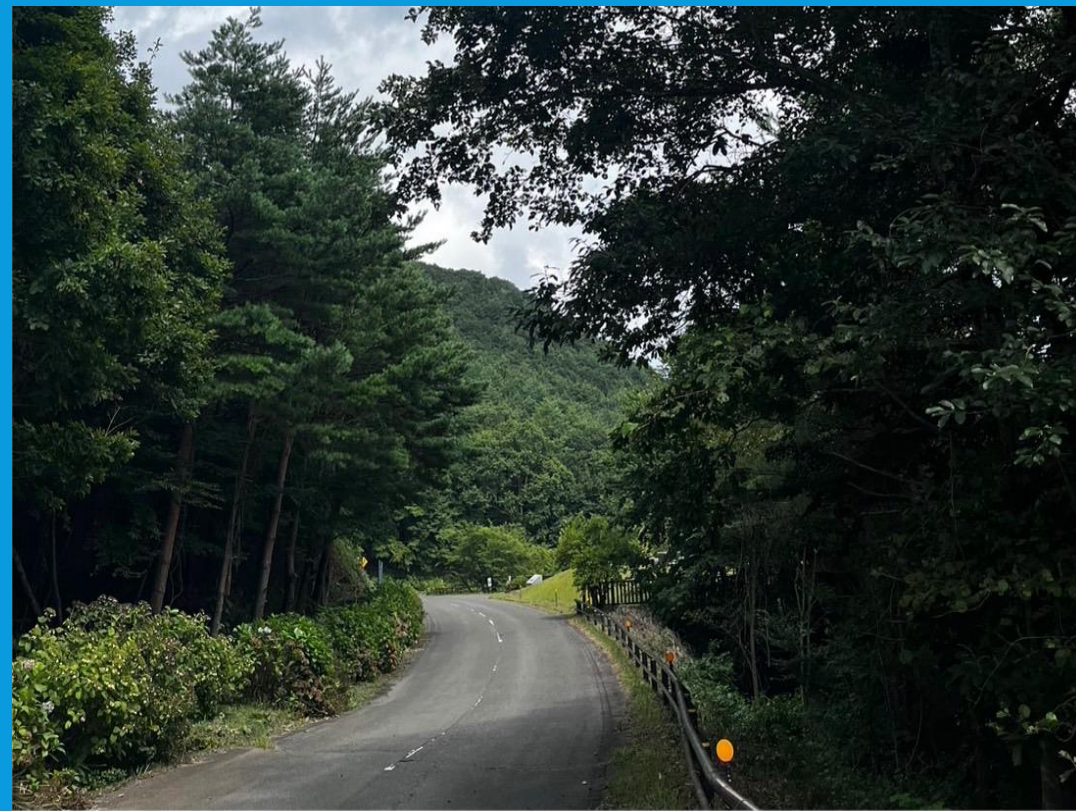


画像元・福島民報
<https://www.minpo.jp/news/moredetail/20230107103815>

飯舘村・長泥地区



2023年3月



2023年9月



避難指示は解除されたが

- ・ 空間線量は高い
- ・ 若い人が生活するにはリスクが高い
- ・ 前回訪問時と比べても線量は大きく変わらず
- ・ これまでここを封鎖していた意味はあったのか

浪江町 陶芸の杜おおぼり

今年の6月3日に再開。
大せとまつりが12年ぶりに開催された。

今年の3月31日に避難指示が解除され、
特定復興再生拠点に含まれている。

画像出典元・まちづくりなみえ

<https://www.mdnamie.jp/namie-diary>



一方で . . .

半壊した建物が建ち並ぶ



震災後のままの陶芸品



判断は正しかったのか

- ・ 空間線量はかなり高く、2マイクロシーベルト／時を越える場所もあり
- ・ 放射線は身体に影響を及ぼしていることをその場で実感できない

安全性は保証されていないのでは？



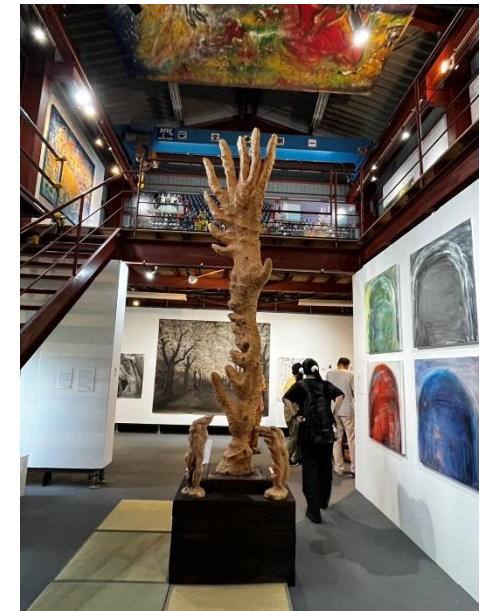
双葉町

- 今年の6月に震災後初となる温浴施設がオープン。
- 8月には震災後初のコンビニエンスストアがオープンした。
- 「えきにし住宅」は居住者が100人を越えた。



南相馬市 おれたちの伝承館

- ・今年の7月に開館。
- ・人々の記憶から失われつつある原発事故を伝承する手段として、アートを用いて表現した作品が展示されている。



最後に

- ・半年間で福島県は復興に向けて多くの変化があった。
- ・避難指示が解除され、帰還困難区域は減りつつあるが空間線量が解除前とほぼ変わっていない。解除にあたって判断は正しかったのか。
- ・一方で震災前の建物がそのまま残っているなど、変わっていないことも多くあった。避難指示が解除された地域に半壊の建物が多く残っていたが、危険性は無いか。